

令和3年度 外国人介護従事者指導担当職員向け研修

動画配信

eラーニングシステムにより、ご都合に合わせて、受講期間中にいつでも何度でもご受講いただけます。一部の講義のみ受講することも可能ですが、修了証書の発行は全科目の動画の視聴が要件となります。

科目	概要	講師	時間
1 外国人介護従事者受入れの制度・法令関係	受入れの各種制度、コロナ禍における受入れの留意点、労働関係法令等について	第一東京弁護士会 弁護士 片岡邦弘	約50分
2 多文化理解の促進、日本語指導のポイント	外国と日本の文化・言葉の違い、コミュニケーション・日本語指導のポイントについて	新宿日本語学校 校長 江副隆秀	約40分
3 外国人介護従事者受入れの体制づくり	職員・利用者等への説明、指導担当の配置等、施設全体で外国人介護従事者を受入れ体制を整える上での留意点等について	群馬医療福祉大学短期大学部 教授 白井幸久	約40分
4 介護業務に関する指導・教育	外国人介護従事者が介護業務に関して困難に感じる点、研修計画の作成方法、キャリアアップのための支援等について		約40分
5 日本での生活に対する支援	外国人介護従事者の受入れにおいて求められる視点、日本で生活を支えるレクチャー等について	東京都介護福祉士会 会長 永嶋昌樹	約40分
6 外国人介護従事者受入れ事例の紹介	【事例発表】 受入れの背景、受入れ前の準備(現地での面談、職員への説明等)、受入れ後の指導方法、就労にあたっての配慮等について	事例① 社会福祉法人聖風会	約15分 ×2事例 + インタビュー 約20分
	【職員インタビュー】 施設で働く外国人従事者と指導担当職員の不安・期待、課題など、受入れの実際に迫ります！ ・来日の動機、仕事のやりがい、日本での生活等について(外国人介護従事者) ・受入れにおいて戸惑ったこと・良かったこと、指導上の工夫等について(指導担当職員)	事例② 社会福祉法人東六会	

社会福祉法人聖風会(特別養護老人ホーム台東 他)

在留資格「介護」、「特定技能1号」など、6事業所で18人の外国人介護職員が活躍しています。また、13人の留学生を法人独自の奨学金貸付金制度で支援中。
学費等を支援した留学生を、国家資格取得後、正規職員として雇用するなど、人手不足の一時的な穴埋めではなく、長期的な視点から外国人介護職員を雇用・育成していることが特徴です。

社会福祉法人東六会(特別養護老人ホームゆしまの郷)

平成29年度のEPA介護福祉士候補者の受入れを皮切りに、近年は技能実習生の受入れも開始しました。現在は10名のうち3名が介護福祉士国家資格を取得し、外国人職員が施設で活躍しています。
人手不足の解消を目的に始まった外国人介護職員の雇用は、施設の活性化という“化学変化”をもたらし、今では外国人職員は施設にとって欠かせない存在になっています。